

なぜ、300点取れる生徒だけが 徳島北・城南へ「安全」に届くのか？

多くの生徒が「なんとなく」5教科を勉強し、伸び悩みます。しかし、データは嘘をつきません。普通科上位校の合否を分けるのは、基礎学力検査における明確な「分水嶺」の突破です。本レポートでは、確実に合格ラインへ到達するための「ロジック」を公開します。

01. 300点の壁

基礎学力テスト300点未満の層は、基礎知識の欠落が点在しています。この状態で演習量を増やしても、「穴の開いたバケツ」に水を注ぐようなもの。

まずは300点を確実に超えること。これが全てのスタートラインであり、ここを超えない限り上位校合格の確率は極めて低いのが現実です。

02. 320点の安全圏

徳島北（普通）・城南・市立の合格者平均ではなく「最低ライン」を見据えると、320点が実質的なボーダーです。一発勝負の入試で心を安定させるのは「過去の成功体験」のみ。基礎学で320点を「当たり前」にする指導が不可欠です。

03. 380点の未来

高校合格はゴールではありません。徳島北や城南に入学後、国公立大学を目指すには学年中央以上の順位が必要です。

そのための指標が入試時点での380点。ここまで引き上げて初めて「勝利」と言えます。

解決策：説明不要のハイブリッド戦略



プレミアム個別指導

(数学・英語・理科)

集団授業では見過ごされる「個人の弱点」をピンポイントで修復。特に積み上げ教科（数・英）は、躊躇の原因まで逆行学習しなければ点数は伸びません。講師固定制で、380点到達まで伴走します。

- 思考力を問う「応用問題」対策
- 高校内容を見据えた「先取り」



戦略グループ講座

(5教科フルサポート)

「わかったつもり」を排除する演習特化型講座。基礎学の過去問分析に基づき、頻出パターンを徹底反復。さらに、独自開発アプリで「暗記」と「理社」の穴を完全に塞ぎます。

アプリ：基礎学最前線

アプリ：理社完全攻略

その勉強法で、300点を超えていませんか？

もし「No」なら、方法を変える必要があります。

まずは成績表をお持ちください。現状と合格までの「距離」を数値化します。

お問い合わせ・学習相談

00-0000-0000

